

刊夕日一十月四

# 常盤每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 発行所 常盤毎日新聞社  
 印刷所 常盤毎日印刷株式会社  
 電話 六三〇番

## 小女達の婦人科的な注意 (三)

安齋外科醫院 婦人科 黒澤 廣

かうして妊娠と授乳の期間は休みますが三十年から四十年位続きます之が普通の月経であります。百人の中に五人位は量が非常に多過ぎる、日数が長過ぎる或は少な過ぎる、とか地つて出て来るとかいふ人もあります、之は生れつき、先天的にそういふ人もありますが、多くは結婚、妊娠分娩等の病的に月経を起す場合が多いのであります。この様に普通の月経は三十一日目に繰返すものでありと申ましたけれども、少女期のは初経があつてから、一年位休む事があります、けれども其の爲に目まは、鼻血等の異常の無い限りは捨て、置いては差支ないものであります。之と反対に血液が多く、日数が長引き頭痛が起るとか熱が出るとかいふ場合は相當注意しなければならぬのであります。

初経の早い子供は體の發育も智能も、早く進んで早く停止します。小學校の四年頃には非常によく出来て將來を嘱望された子供が女學校に行く頃になつてあまり出来なくなるといふ様な者で、かういふ子供は餘り強い方ではありませぬ。小さい時から凍傷の出来る子供、偏食の子供、面癩の出来る子供等は悪い體質でありませぬから、かういふ子供には入學試験勉強等餘りさせず、榮養に注意して榮養不良に陥る事のない様にする事が肝心であります。

- 明日の献立  
 朝 味噌汁 大根 小皿 ゆきのり
- 晝 木の芽和へー 人參 せん切り
- 晩 白酒しき(酢の物) ささえ うど おでん

それから婦人には月経中犯罪を犯す者が多いと言はれますが、之は何でもかでも月経になりさへすれば引をしたり火付けをしたりするものではないので、偶々ヒステリー性の人とか癲癇の人等がその時期にさういふ事があり易いといふ丈であります。

然し度外れな内氣な人因循な性質の少女は注意しなければならぬのであります。次に月経の攝生に就て申

上ます。十五六歳の年齢になりますと自然相當の知識ももちますが十二三歳では未だ豫備知識が無いので急に月経がありますと怖れと驚きで精神上のショックを受けるので、さういふ時に憂鬱性になる事がありますから、母親は注意を要します。十二三になつて身長が一年に三寸も延びたといふ場合にはそれから一二年後には、さういふ變化が起るといふ事をよく教へて、「何か變つた事があつたらお母様にお話しなさい」といつて置く事が必要であります。

寺しづか 童子ふたり 寺の前に 遊びけり

木津 茂太郎



**吉田眼科醫院**  
 平紺屋町 電話六八番  
 醫學士 吉田久雄

**石炭**  
 コークス  
 豆炭  
 阿部石炭店  
 電話三十七番

**北川外科**  
 平町新川町七二  
 醫學博士 北川芳夫  
 醫學士 奧 義弘

**藤沼醫院**  
 平町紺屋町 電話五〇七番

**木村病院**  
 平町新川町十九  
 病室完備 入院隨意  
 電話一六四番

嬉ばしき御卒業と  
 上級學校御入學の  
 御祝は是非!  
 最も正確な常盤屋の時計を  
 四月一日—十五日迄  
 お買上の時計にお祝として保険付  
 高級十四金ペン付  
 ロンドン万年筆送呈

**常盤屋時計店**  
 平町二丁目 電話三三九

クロム鋼 精工舎 10形腕時計 7・50ヨリ  
 クロム鋼 セイコー 女學生用腕時計 8・00ヨリ

**市原醫院**  
 平町田町(電一一四番)  
 内科 小兒科 市原卯太郎  
 外科 梅毒、淋病 市原三三男  
 入院隨時

**魚清食堂**  
 平二番察界通り  
 電話六六三

毎度特に御引立に預りまして厚く、御禮申上げます。寒かつた冬も何の間にか過ぎ去りまして楽しい春が訪れて参りましたもふ櫻も二旬の後に追つて来ました。折魚折の原料が到着致しました。何卒お花見には多少共御下命の程伏してお願い致します。

乍末筆来る春と共に皆様の御健康と御繁榮をお祈り致します。

# 平・勿來間國道舗装

## 實現有望となる

### 縣百年の大計樹立のため

#### 工費二百五十萬圓計上

平・勿來間國道舗装工事は從來地元關係町村でこれが實現に運動を繼續して來てゐたが時局匡救、災害救済等各種應急事業に追はれて實現されなかつたのであるが縣土木課では縣百年の大計を樹てる建前から冷害對策應急事業その他の救済事業の外に新に十年計畫を以つて國道改良事業に着手す

ることになり過般内務省に河合土木課長が出頭、土木局三浦技師が諒解を求めて内諾を得たので直に計畫樹立に努めてゐるが特に緊急着手する必要があるものとして平・勿來間國道舗装を取り上げ工費二百五十萬圓を計上實現に邁進する模様である

# 郡下の雪害

## 二十四萬八千餘圓

### 縣から陳情書提出

過般の未曾有の雪害調査は昨日山林農務土木耕地蠶糸各課に亘つて終了したが郡下は二十四萬八千五百九十七圓で縣下では實に七百四十萬五千五百四十四圓の多きに達しこれに農山村が蒙る間接的な被害を加へると總額が一千萬圓を遙に突破するものと推定され郡内は勿論本縣未曾有の大災害と云はれてゐる

尙縣では八日農林省蠶糸局長大日本中央蠶糸會全國養蠶業組合聯合會長

# 涙新たに……

## あす慰靈祭

古河炭礦小館廣場で

(既報)去月廿五日蘇滿國境長嶺子で名譽の戦死せる吉田上等兵の遺骨は好間村小館の實兄常次さんのもとに歸還したが好間在郷軍人分會並に古河炭礦書社では明日十二日午後二時から古河炭礦小館廣場で慰靈祭を執行することになった

# 列車顛覆慘事の

## 記録を編成保存

### 飯坂で打合會を開く

#### ガソリン車

#### 運轉協議

昨年十月の磐越東線小川郷川前間に於ける旅客列車の脱線顛覆から數十名 死傷者を出した當時の大椿事に ついて福島運車では今日詳細な調査記録を永久に残すことになり来る十五六兩日飯坂鐵道療養所で關係驛の記録編成打合會を開く

(昨報)平驛では待望のガソリンカーが十五日より過轉されるので今十一日平驛では驛樓上に各保線部會及び驛手、線路手等の協議會を開きガソリン車運轉に就いての打合を行つた

# 晴れの記念日に

## 農事功勞者表彰

### 譽れの精農卅一氏

石城郡農會では本十一日農會記念日に際し郡下農事功勞者左記卅一名を表彰諸橋會長より記念品を贈呈した

- △植田村松野△山田秋山藏之助△全佐川朝△入
- 遠野佐藤忠太△平諸橋國松△飯野箱崎才三郎△全
- 永山菊治△高久鈴木正一△全山野邊茂五郎△好間
- 金成金作△全伊藤庄助△四倉植田萬治郎△全狩方

# 崇る寒波に

## 鱒業者がSOS

### あぐり網干葉行で原料不足

#### 鱒景氣の反動甚大

寒波に禍されて見えず、春の鱒漁を逸脱した本縣沿海のあぐり網はいづれも不漁を啣しながら寒波退散の時期を待ちあぐり網干葉へ切れず縣内漁區の鱒漁を遂に断念してあぐり網二十隻は千葉縣銚子港を中心に出漁するに至つた、面喰つたのは地元の鱒製造加工業者だ、大事な原料が少しも入らずそれに昨秋來の大漁に加へて魚油や魚粕相場が暴騰から各方面に新工場が建設され鱒景氣を謳へたあと、打續く原料薄から各工場とも悲鳴をあげ遂に小名濱八十五軒、四倉五十五軒、江名五十軒の加工業者は銚子に出漁中のあぐり網に「廻送料は充分出すから地元へ鱒を水揚げしてくれ」としてSOSを發するに至りヤツと數日前から時折水揚げされるが忽ち吐ける始末でこの處各濱業者は原料の入手に大變な苦勞してゐる

# 義務教育

## 國庫補助

### 郡下各町

義務教育費國庫補助額左の如く決定した

- 泉三、二九二 渡邊一、八〇一 植田四、七五七 山田二、六二四 錦三、二一四 勿來七、四八八 上遠野四、一九三 入遠野三、二八四 川部三、三七五 田人組合三、九八八 平一七、四二五

# 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

美味! 芳醇!

- 飯野二、八二七 夏井二、二二七 高久二、八一 豐間三、二五〇 江名四、二七六 鹿島一、六〇〇 小名濱八、一三二 玉川一、九六四 磐崎六、二四四 湯本一、二六八 四内郷二、一九四 好間一、〇六七 赤井六、五九二 永戸二、七七八 箕輪一、二一六 澤渡一、六六六 三阪二、五二六 神谷三、〇六九 草野三、九六八 大浦三、六七六 四倉六、三八一 大野三、四二七 平窪二、五五六 上小川組合三、七二一 川前二、六五八 計一七六、八四二、四〇

# 美しい郡下児童の同情 小遣錢を集めて

## 春もに徒生盲

石城郡教育 部會では過 般の郡下小 學校長會で協議の上糧道を 絶たれた不遇の警城訓盲院 生徒に同情金を募集中であ ったが此の程締切つた處郡 下の小學校、青年學校生徒 が小遣錢を出し合つて集め た金が四百六十五圓五十一 錢に達したので今十一日篠 山部會長、千葉副會長が代 表して院長水野寅三郎氏を 訪れ右金員を寄贈した

植田公園でも 舞臺建設 大童の青年團 植田町八幡公園の櫻は一雨 ごとに蕾がふくらみ廿四、 五日頃は満開を豫想されて いるが同町青年團は公園に 舞臺を設け餘興に紅裙連の 手踊りで觀櫻客を歓迎八百 餘の雪洞と提灯も十四日か ら點燈される

## 劍尖火を吹く

### 尚武の譽れ

劍道平弓道好間優勝

石城郡忠魂祭は十日午前九 時から平町松ヶ岡公園忠魂 碑前で石城郡町村長在郷軍 人會參列の下に舉行同時に 武徳會分會主催の武道大 會が催されたが成績左の如 し

- △銃劍術 1 分會大竹徳 義 2 入山富澤敏雄 △劍 道有段者 1 大友能一 (赤 井) 2 大和田一男 (碧中) 3 藁谷泰雄 (平商) △段 外 1 岩崎久次郎 (平商)

## 湯の嶽に降雪

近年にない四月の雪 平町地方は九日夜半から氣 温がグッと下り附近湯の嶽 連峰は一帶に降雪あり再び 冬にバックした様な寒さに

## 東北一櫻の平へ 団体客の申込殺倒

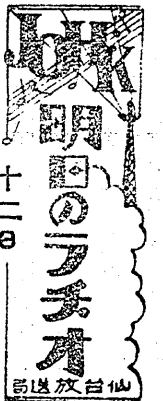
既報平町松ヶ岡公園の櫻花 宣傳に大童はの平驛が東鐵 に應援方を申請した結果同 鐵道局では今回東北一櫻の 平へと二色刷宣傳ビラを印 刷して全管下に配布し宣傳 に努めたので平驛には早く も来る十九日助川驛から六 百名の團體が假裝して乗込 るや小津津植田間各驛か ら同人六百人の團體申込が あり小團體申込もボツく 出初めたので昨年以上の成 績を挙げようとい意氣込んで 居る

## 流行する 酌婦逃走

内郷村大字宮字瀧料理業佐 藤ハルコ方抱酌婦千葉縣生 れ節田キチ(三)は九日朝前 署に逮捕された

## あの手この手の 悪周旋屋擧がる

危なかつた小名濱の酌婦 小名濱町字下横町某飲食店 酌婦茨城縣鹿島郡野村大 字日川理髮業岩瀬トキの次 女ミキ(三)を九日夜訪ねて 来た茨城縣鹿島郡息栖村固



明日のラジオ 今夜は南の風 薄曇り 明日は南の風 晴れ

今晚の部 後六、〇〇 吹奏樂 大阪 市音楽隊(桃谷中繼) 後六、二五 講演「聖徳太 子十七箇條憲法の綱領」 辻善之助 後七、三〇 花めぐり第四 日(福岡市西公園より中 見舞はれたが四月に入つて の降雪は石城地方としては 一寸珍らしいことである

## 入質費消

友達の樂器を 平町長橋町義久長男宮内 隆(三)假名は去る二月中好 間村字權現堂木村勝己方か らバイオリン(價格五圓)を 借り受けこれを平町四丁目 三井質店に入質費消したこ と發覺十日平署に檢舉され た

## 妻歸れの放火に 懲役六ヶ月求刑

双葉郡大久村大字小久字町 田前一大工根本由房(三)が 去る十九日午後三時頃家出 した妻マスを驚かさんと 自宅納屋傍の推肥に放火し た事件は今十一日平區野木 判事係り清田檢事立會公判 開延懲役六ヶ月を求刑され た

## 山間部落の 雪害被害

三坂澤渡一部全滅 石城郡農會では雪害に二毛 作の被害が多い見込みで柴 田青山兩枝師が郡内各地を 視察調査中であつたがその 結果は箕輪、澤渡、三坂、 入遠野、田人等の山間各村 は部落によつては全滅、大 部分は半毛乃至七部作程度 の被害でその他平坦部では 二割減程度で食ひ止め得る

## 平裁判たより

△双葉郡浪江町大字權現堂 字新町三自動車過轉手林司 一(三)は去る一月十七日午 後五時二十分頃長塚村字鴻 草地内國道を疾走中横斷せ んとした同村志賀ミヌ(七) に衝突し頭蓋骨折で即死せ しめた事件は今十日平區よ り業務上過失致死罪で略式 罰金七十圓に處された

明日の部 前七、〇〇 小鳥の啼聲 前九、一〇 季節料理 前九、三〇 子供の時間 ラヂオ世界見物「カナダ」 高田寛 前一〇、〇〇 日曜禮拜 麴町カトリック教會より 中繼 後八、〇〇 趣味講演 「啄木を偲ぶ」小林茂雄 前一〇、一〇 趣味講演 「杜鹿の島々を語る」伊藤 政次 後〇、二〇 六大學野球リ ーグ戰況(神宮球場よ り) 後〇、五〇 趣味講演「ロ シア人の復活祭」竹内伸 夫(ハルビン) 後六、〇〇 子供の時間 お話と唱歌(臺北より) 後七、三〇 講談「應舉の 幽霊」大島伯鶴 後八、〇五 都をどり「續 謠曲今様鏡」京都祇園新 地藝妓連中(歌舞練場よ り中繼)京都 後九、〇〇 獨唱 三浦環



死解の設  
丸尾至陽(書)

九四 假牢へ

大岡源右工門はお花がデ  
ツト苦痛をこらいるを見て  
源「これ水責にかけろ」

と命令をした、下役の者は  
それへ竹梯子を持出しお花  
の衣類を剥取り裸体にした

が全身には朱入りの櫻の刺  
青、係りの者もこれにはお  
どろいた、女で全身に刺青

したは珍らしい、やがて腰  
巻一卷にしし足をこの竹梯  
子にくし水を注いで責め

んとする實に残酷なこと  
すお花はこゝで命をすてる  
ことゝ覺悟して水責めにか

らうが火責めにかゝるも  
白状はせぬと決心した今や  
責めにかげやうとした時に

○「しばらく待てその責め  
は止まれ」

と聲をかけた者があつた、  
大岡源右工門はこれを止む  
る者は何者かと見ればこれ

ぜ歩兵奉行佐久間近江守で  
あつた、大岡源右工門は市  
中取りしまりその職は歩兵

頭その一段上に居るが奉行  
です

源「これは佐久間殿でござ  
るか何故お止めなされる此  
奴は大罪を犯かしたものに

ござる」

近「イヤ大罪を犯かせし者

と判り居れば拷問にかけ  
るには及ぶまい徒らに人を苦  
めしその罪を自白いたさざ  
る故拷問にかけるところこれ  
は女子である、その脆弱さ

させねばなりません青  
木彌太郎と申すものとしめ  
し合せ藏前の誰ヶ袖と申す  
茶屋にて札差共の主人を脅  
し大金を掠奪いたしました  
猶又青木ハ隠れ家根岸の  
別荘には鐵砲も隠し置く、  
これらのことにつき此奴の  
口より罪状の次第をうけた  
まはり、しかして青木を捕  
縛いたす、これに依つて拷  
問にかけらるることに致した  
近「貴公の役目にして拷問  
にかけしかして白状なさし  
めむといたすは當然のこと  
と思ふが女子と申し且又こ

させばなりなますまい青  
木彌太郎と申すものとしめ  
し合せ藏前の誰ヶ袖と申す  
茶屋にて札差共の主人を脅  
し大金を掠奪いたしました  
猶又青木ハ隠れ家根岸の  
別荘には鐵砲も隠し置く、  
これらのことにつき此奴の  
口より罪状の次第をうけた  
まはり、しかして青木を捕  
縛いたす、これに依つて拷  
問にかけらるることに致した  
近「貴公の役目にして拷問  
にかけしかして白状なさし  
めむといたすは當然のこと  
と思ふが女子と申し且又こ

お花は歩兵奉行の見て  
花「あらたのお慈悲で助か  
りました、大岡様は岩水の  
やうな殿しいお役人、また  
佐久間様は重臣のやうなや  
さしいお役人様、わたしに  
は、阿古屋程の客良もなく  
また阿古屋程の操もないが  
青木さんの行衛とまたあの  
別荘ら出た鐵砲のことにつ  
いては何事も存じませぬ、  
知らぬことゝて知らぬと申  
して居りました、しかして大  
岡様は何事も知つてゐるも  
のと思召して拷問にかけて  
もいはせるとの事、こゝに



女子を拷問にかけらるるは悠然  
に存ずる、町奉行に差送ら  
るるに依つて取調べ果して  
大罪を犯せし者であらば奉  
行の職權にて相當の刑罰を  
加はるべきであらう」と申し  
すると大岡源右工門が

源「仰せにはござるが、御  
覽の如く此奴は女子にある  
まじき全身に刺青を致し居  
るこれに依つて此奴の行正  
しからざることも割りをる  
しからば拷問にかけて白状

は傳法院の寺中慈悲を旨  
と致す寺院にてかゝる苛酷  
なる吟味を致すはよろしく  
ない奉行所に差送るがよろ  
しからう」

といはれて大岡もそれ〴〵  
拷問にかけらるるといへず  
源「然らば仰したがひ拷問  
は止ることに致す、これ此  
女子を牢舎につなぎ置け」  
と申し渡した、そこで、お  
花の繩を解き衣類を着せ氣  
付を興へた

佛になるものと覺悟はしま  
したが佐久間様の御慈悲に  
依つてまた娘婆の人になり  
ました、これからはお町奉  
行のお調べを受けることで  
ございませうが何といはれ  
ても知らぬことはいひぬと  
心におろしたこの錠をあげ  
胸に包みしその秘密を引き  
出すことはなりません」

といひつゝ笑つたが源右  
工門はこいつ何事も知りな  
がら白状せぬとは不埒至極

とにらみ付けた、しかし奉  
行の佐久間の命令をこぼむ  
ことはならぬ、そこで假牢  
へお花を監禁した

看護婦急派  
求めに應じ  
ます

平看護婦會  
電話三〇七

一冊の代金で  
御希望通りな

五冊の雑誌が  
自由に讀める

川崎回文庫  
電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

木村病院

平町新川町十九  
電話一六四番

1936  
御入學・御進學

美事な ファイン・ブレイ

をなされた御愛兒様へ!!  
小店にては聊か右御祝と日頃の御愛  
顧に酬ゆる爲左記の通り奉仕特賣致  
します。記念として何卒御用命の程  
伏して御願ひ申上ます。  
旅行と實用とを兼ねた  
責任保證附 腕時計  
定價 金七圓五十錢ヨリ  
(デム又は皮バンド附)  
萬年筆 定價 八十錢 ヨリ  
ビクター・コロンビア  
ボリドール

特約店 金光堂時計店  
平町五丁目

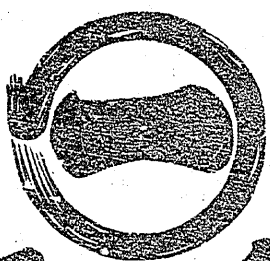
夜 間  
胃腸病性  
内 科  
胃腸病科  
花柳病科  
性病科  
皮膚科  
門 專  
院醫 性病 胃腸 村松  
(番七〇一町南町平)  
療

干やなぎ

味美 鯉鹽から

当店特製

鯉節



魚問屋

榮盛賀志

(番三一話電)目丁四町平